

ベルモント・フォーラム（CRA 生物多様性と生態系サービスのシナリオ（Scenarios of Biodiversity and Ecosystem Services））

「生物多様性と生態系サービスのシナリオ・ネットワーク（ScenNet）」 課題終了報告書

1. 研究課題：「生物多様性と生態系サービスのシナリオ・ネットワーク（ScenNet）」
2. 研究期間：平成 27 年 1 月～平成 29 年 3 月
3. 主な参加研究者名：

日本側チーム

	氏名	所属	役職
研究代表者	齊藤 修	国連大学	学術研究官
研究者	武内和彦	東京大学	機構長・教授
研究者	中静 透	東北大学	教授
研究者	白山義久	独立行政法人海洋研究開発機構	研究担当理事
研究者	大黒俊哉	東京大学	教授
研究者	橋本 禅	東京大学	准教授
研究期間中の全参加研究者数		30名	

相手側チーム

	氏名	所属	役職
研究代表者	Sandra Lavelle	CNRS Laboratory of Alpine Ecology	Director of Research
研究者	Wolfgang Crämer	Mediterranean Institute for marine and terrestrial biodiversity and ecology (IMBE)	Professor
研究者	Paul Leadley	University of Paris-Sud	Professor
研究者	John-Arvid Grytnes	University of Bergen	Professor
研究者	Jean Paul Metzger	University of Sao Paulo	Professor
研究者	Guy Franklin Midgley	Stellenbosch University	Professor
研究期間中の全参加研究者数		16名	

4. 研究の目的

本プロジェクト（ScenNet）は、生物多様性と生態系サービス（自然から人間が得ている恵みの総称）の将来シナリオ研究に取り組む研究者による国内並びに国際的な連携ネットワークの強化を目的とする。ScenNet では特に、①国際ワークショップ開催（3 回）、②国内での研究者ネットワーク構築、③大規模な国際会議の開催（2016 年 8 月、フランス）、④web ネットワーキングツールの活用を通じて、参加 9 か国の研究者の連携と能力形成を強化することに焦点を当てた。

5. 研究・交流の成果

5-1 研究の成果

日本側で、国際ワークショップの1つを東京にて開催したほか、オーストラリアとブラジルで各1回、計3回の研究ワークショップを予定どおり開催した。また、アフリカでの土地利用変化と食糧安全保障に関する他のベルモント・フォーラムの2つの国際共同研究プロジェクトとの共同国際ワークショップを開催し、研究交流を深めた。

日本国内および海外で生態系シナリオとモデリングに関する研究ネットワークを構築した。参加国の研究チームが相互補完的に取り組むことで、2012年に設立された生物多様性と生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム（IPBES）やフューチャーアース（Future Earth）に実質的に貢献した。

5-2 人的交流の成果

ScenNet で開発した生態系サービス評価と将来シナリオ構築に関する教育プログラムは、国連大学の短期集中コースとして実装され、2年間で国内外の参加者35名が受講した。本コースは、今後も継続予定であり、かつIPBESの能力開発の技術支援ユニット(TSU)や相手国メンバーの大学等とも連携しオンラインコースの開発・実施など、引き続き充実を図る予定である。また、ScenNet プロジェクトでは、博士号を取得して間もない若手研究者や大学院生らが研究ワークショップや国際シンポジウム・会議に参加し、研究交流・研究発表の経験を積むことができた。

6. 本研究交流による主な論文発表・主要学会での発表・特許出願

論文 or 特許	・論文の場合： 著者名、タイトル、掲載誌名、巻、号、ページ、発行年、DOI ・特許の場合： 知的財産権の種類、発明等の名称、出願国、出願日、出願番号、出願人、発明者等	特記 事項
論文	Marcel T. J. Kok, Kasper Kok, Garry D. Peterson, Rosemary Hill, John Agard, Stephen R. Carpenter (2017): Biodiversity and ecosystem services require IPBES to take novel approach to scenarios, Sustainability Science, 12, 1, 177-181, doi:10.1007/s11625-016-0354-8	
論文	Shoyama, K., Kamiyama, C., Morimoto, J., Ooba, M. and Okuro, T. (2017): A review of modeling approaches for ecosystem services assessment in the Asian region. Ecosystem Services, in press.	
論文	Kamiyama, C., Akiba, H., Shoyama, K., Hashimoto, S., Matsui, T. and Saito, O. (2016): A design framework for future scenarios to support biodiversity and ecosystem service research in Japan. Proceedings of 44th Annual Meeting of Environmental Systems Research, 151-158.	
学会 発表	Osamu Saito, Overview and Prospect of PANCES - Predicting and Assessing Natural Capital and Ecosystem Services - Project, 2016 Asian Ecosystem Services Partnership (ESP) Conference: Ecosystem Services for Nature Based Solutions, 30 May to 3 June 2016, Ansan, Republic of Korea	
学会 発表	Shizuka Hashimoto, Linking land use change projection with ecosystem service evaluation: towards scenario analysis of ecosystem services, 2016 Asian Ecosystem Services Partnership (ESP) Conference: Ecosystem Services for Nature Based Solutions, 30 May to 3 June 2016, Ansan, Republic of Korea	